

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第66号

発行日 平成26年2月28日
 発行 県立鹿屋高等学校PTA
 発行責任者 PTA会長 床次広有
 編集責任者 広報部長 市来理恵子
 題字 柿内 至(2年)

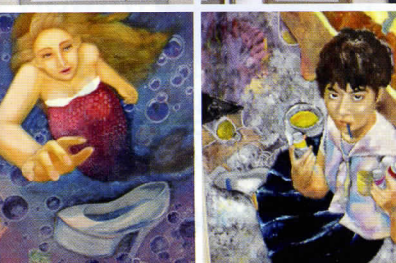
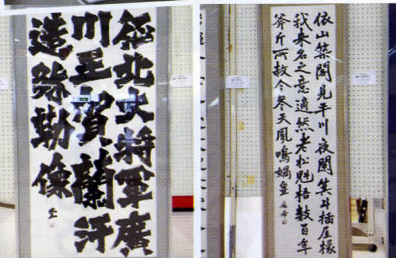
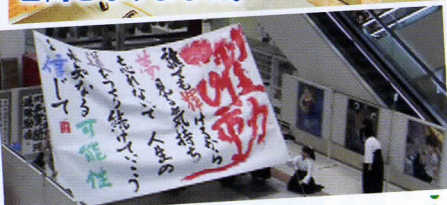
- 1・2面：生鮮芸術市場、卒業おめでとう
- 3面：担任からのメッセージ
- 4面：センター試験、応援メッセージ
- 5面：保護者からのことば
- 6面：センター試験激励会、PTAニュース
- 7面：ご近所さん教えて!!
- 8面：おかみさんレシビ、部活青春、編集後記

第20回記念 生鮮芸術市場



1/30(木)～2/2(日)

プラッセだいわ内にて、生鮮芸術市場が開催されました。美術部による似顔絵コーナー、書道部の迫力あるパフォーマンス揮毫、観客を魅了した吹奏楽コンサート、写真部等の作品展示など高校生の息を感じた5日間となりました。



創立90年の伝統を誇る鹿屋高校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

鹿屋高校で過ごした3年の歳月は、瞬く間に過ぎてしまったのではないのでしょうか。皆さんを支え続けた保護者、そして家族にとっても同じだと思えます。皆さんは入学してから文武両道、勉強と部活に励み、体育祭や文化祭で笑ったり泣いたり、とても輝いた日々を過ごしました。そして、その一つひとつの場面には、いつもたくさんのお仲間がいたことでしょう。ここで出会うべくして出会った友や先生は、皆さんにとって無くては



PTA会長
床次 広有

ご卒業おめでとうございます

ならない一生の宝物です。この輝いた季節を演出してくれた、そしてこれからも大切なキャストでありましょう。

皆さんが鹿屋高校を卒業する2014年の干支は甲午(うま)です。「甲」は殻を脱ぎ新たな芽が出始める年であり、物事の始まりを意味し、これまで通用していたものが通用しなくなる事を表します。また、「午」とは時刻を言えば太陽が最も高くなる正午を指し、激しく動いて抵抗する意味があります。1834年の天保「甲午」の年は、幕末の始まりとも言える「天保の改革」があった年です。つまり皆さんの旅立ちには、新しく、そして躍動する「始まり」の年が準備されています。臆することなく思いっきり羽ばたいてください。私たち保護者は、羽ばたいて行くあなた達を、いつまでも見守っている最強の応援団です。

卒業

おめでとう

新たな旅立ち



校長 芳文 神田

『草の戸も／住みかはる代ぞ／雛の家』

松尾芭蕉はこの句を詠んで陸奥へ覚悟を決めた旅に出ました。言うまでもなく、卒業は別離であると同時に旅立ちの時でもあります。六十六期生も鹿屋高校を卒業し新たな人生を求めて旅立つことになりました。だからこの時期、悲しみと喜びがない交ぜになって気持ちが高ぶったりもするのです。そういう思いは歌にも謳われています。

昭和二十年代に学校を卒業していった人々の心には『遠き別れにたえかねて／この高殿に登るかな／悲しむなかれ我が友よ』

／旅の衣をととのえよ』と詠んだ島崎藤村の詩がよみがえるにちがいありません。そして、昭和四十年代に高校を巣立った我々の世代は、『赤い夕陽が校舎をそめて／ニレの木蔭に弾む声／ああ高校三年生ぼくら／離れ離れになろうとも／クラス仲間はいつまでも』と涙ながらに歌いました。昭和六十年代は『乾杯』が歌われました。『かたい絆に思いを寄せて／語り尽くせぬ青春の日々／時には傷つき時には喜び／肩をたたき合ったあの日』と。最後に、長瀬剛は、『乾杯』いま君は人生の／大きな舞台に立ち／遙か長い道のりを歩き始めた／君に幸せあれ』と繰り返しエールを送りました。

このように時代は変わっても、いつの時代にも変わらぬ思いと、いうのが、その時々の歌に謳われてきました。これらの歌詞の一つ一つが青春のページを飾るにふさわしい思いとなって伝わってきます。今年、卒業を迎えた君たちは果たしてどんな歌を口ずさむのでしょうか。平成十年、スピードは「My graduation」を歌っています。『あなたと出逢えてよかった／今ひとり瞳を閉じてよかった／心アルバムをめくれば／きらめく想い出たちよ／続いてく時はいつも止まらずに／変わっていく街も人も愛もみんな／ずっと忘れない／離れてもくじけない／生きてゆく／今日から／やさしさと勇気をくれたよね』と。卒業する皆さんが口ずさむ歌も、この歌のようにたくさんきらめく想い出が詰まり、未来に踏み出す力強いものであつて欲しいと願わずにはいられません。

二度と返らぬ三年みんねの月日ではありますが、そこで育んだ友情の絆を大切にしながら、やさしさと勇気をもって未見の我の発見、自分探しの旅に出てくたさい。長い旅路です。くれぐれも健康に気をつけて。

卒業おめでとう！第66期生



3学年主任 常盤 学

3年前の入学以来、1062日の高校生活を終え、いよいよ卒業のときです。皆さんが描いたとおりの高校生活だったでしょうか。殆どが進路決定していない今、不安もあるでしょうが、最後の最後まで入学時の夢実現のために粘り抜いてほしいものです。

高校生活は、皆さんにとって思い通りにならないことの連続だったであろうと思います。しかし、この3年間で、礼儀作法や集団行動、学習方法などを身につけてもらい、学校行事や部活動の中でも、リーダーシップのとり方、団結力や企画力を身につけてきました。その成長ぶりには、目を見張られました。

これからは、この三星での3年を土台に、次なるステージが用意されています。それは、皆さんひとりひとりが自分の意志で選んだ道です。自分でやると決めたことをやり遂げる習慣をつくりあげてください。それでも、思うようにならないことややる気が出ないこともあります。そういうときでも、自分を責めるのではなく、次にどうすればよいかを考えることです。やる気が起きない環境にあつても、自分の目標を達成するまで、努力するしなやかさをもって毎日を過ごしてほしい。それぞれの道での活躍を願っています。

最後になりますが、保護者の皆様には、3年間本校の教育活動およびPTA活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。厚くお礼申し上げます。



5組担任 瀬戸 和久

66期生の皆さん、卒業おめでとう。また、保護者の皆様方、これまで様々な方面に御協力いただきまして誠にありがとうございました。

私から君たちに送りたい言葉があります。それは、「艱難汝を玉にす」です。

これから長い人生が始まりますが、人生というのは案外に楽しいことだけでなく、むしろ苦しいことの方が多いのかもしれませんが。人は逆境に出会ったとき、どう対処するかでその人の真価が問われます。ぜひ、皆さんは艱難を自らに課し続け、自分を磨き続け、人間的成長を遂げてください。

君たちのさらなる成長を心より楽しみにしています。



6組担任 北園 祐子

「越えられない高い壁は ぶつかってぶっ壊して 前に進んでけばいいさ 強靱な向かい風は 背中で受け止めて 追い風にすればいいさ」

私の好きな歌のワンフレーズです。これから先、君達は今まで以上にいろんな体験をすることと思います。困難にぶつかったとき、それらは自分が成長するために起きているんだということを忘れないでください。そして、必ず解決する道があります。自分はどうしたいのかを考えて決断してください。決断した瞬間、一步踏み出したことになり、そこからパワーが生まれるはず。皆さんの今後の活躍を期待しています。卒業おめでとう！



7組担任 田島 徹也

いよいよ卒業ですね。今日までの学校生活の中でたくさんのお出合いがあったことでしょうか。私は、いろいろな人との出合いがその人の人生をつくっているのだと考えています。出合いは偶然なのかもしれませんが、実はその人の人生においては必然の出会いなのだと私は考えています。人との出合いの数だけ自分の人生が豊かになると思います。

これからも出合いを大切に、数多くの友人をつくってみてはどうでしょうか。数多くの友人はあなたの人生の「財産」です。本当に困ったときや苦しんでいるときにきっとその「財産」である友人が君たちを助けてくれるでしょう。



8組担任 千頭 一郎

卒業おめでとう。今後の皆さんの冒険が、多くの愛情に包まれた、驚きと発見に満ちたものになることを願っています。



1組担任 宮内 裕平

66期生の皆さん、卒業おめでとうございます。私が今後も皆さんに大切にしてほしいことは、「人の気持ちが変わる」ということです。

大学生の時に「物事に事実は一つか無いけれど、真実は一つではない。」ということ学びました。それぞれの人がそれぞれのフィルターを通して世界を見ています。だから、同じ物を見ていても見え方が違うことがあり得るし、それがそれぞれにとっての真実なのです。人の気持ちも同じです。色々なフィルターの存在に気付ける人になってください。



2組担任 立神 倫史

卒業おめでとうございます。幕末に名君と称えられた島津斉彬という人がいました。日本近代化の先駆けとなった集成館事業を立ち上げたり、維新の立役者である西郷隆盛らを見いだした人物です。

その斉彬はどのような家庭環境で育ったのか。それは母親の存在が大きいといわれています。実母である彌姫は、文芸、武道に優れ、心優しい反面、しつけや教育に厳しい人でした。斉彬の優れた教養や感性は、この彌姫の感化による所も大きいといわれています。みなさんも、これまで保護者の方に大切に育てられてきたと思いますが、いよいよ巣立ちの時が近づいてきました。保護者への感謝を忘れずに、大海へ向けて船出して欲しいです。彌姫が斉彬のためにつくった歌です。

「光なき石とみなして心もて みがきあぐれば玉とならん」

集成館はまもなく近代化遺産群の一つとして世界文化遺産に登録されることになりそうです。



3組担任 藤田 典子

3年間みんなに英語を教えた立場として、みんなにはこれからも英語を勉強してほしいと思っています。英語が話せると世界を見ることができ、様々な価値観に触れ自分の視野や可能性を広げることができます。高校でしてきた堅苦しいやり方でもなくても映画や音楽、留学、旅行などを通じた勉強でもいいのです。外国語学部に進学するのでもぜひ英語の勉強を続けてください。きっといいことがたくさんあるはずですよ！



4組担任 米倉 秀和

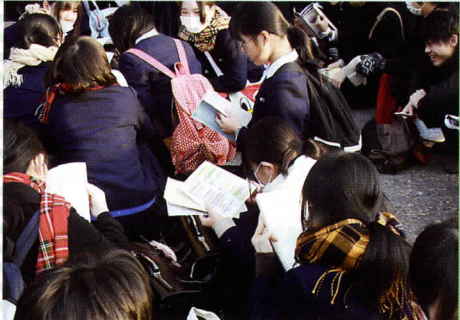
高校生活3年間、しんどかったけど規則正しくて充実していたなあと思出すもよし、もっと勉強すりゃよかったなあと思出すもよし、イヤラシイことで頭がいっぱいだったなあと思出すもよし、漫画ばかり読んでいたなあと思出すもよし。高校3年間のモデルケースなんていうのは、実はあるようでないでしょう。どんな形であれ、後から思出す時に、「あの時あだったから、今がある」と、自分なりに意味を与えられるような、そんな人生を送ってください。偉そうですみませんが…

はばたく66期生へ…

今

贈る言葉

担任からのメッセージ



センター試験



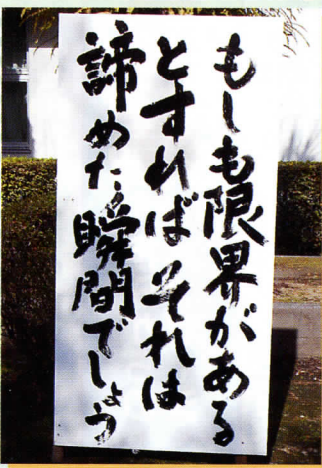
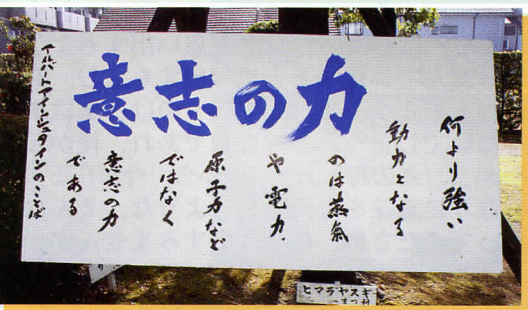
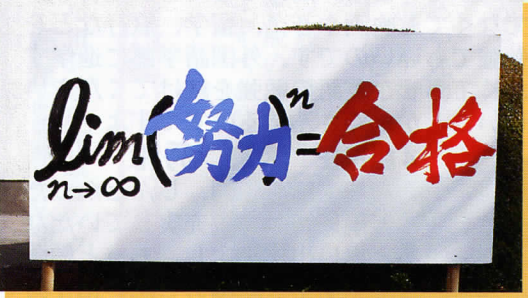
1月18日(土)19日(日)の両日、
大学入学選抜大学入試センター
試験が鹿屋体育大学で行われまし
た。生徒たちは緊張した面持ちで
先生方の話に耳を傾けていました。
がんばれ!! 三星健児



応援メッセージ



正門から3年の昇降口に向かう通学路
には、応援メッセージが並んでいます。
先輩方の健闘を祈り、書道部のみなさ
んが制作してくださいました。
花文字花壇は事務室の西村先生が育て
てくださいました。



66期生保護者からのメッセージ

朝晩一笑

「大丈夫?」「無理しないで。」高校生活3年間、娘が毎日私にかけてくれた言葉です。

「学業と部活の両立」をサポートすることが母の役目とスタートした入学直後、私は体調を崩してしまい、病院通いの身となってしまいました。「学業と部活と母への気遣い」娘の高校生活は、この3本立てでの幕開けでした。私のちょっとした体調変化を見逃さず、常に冷静で優しい気遣い、学業と部活を両立する芯の強さ、娘に励まされながら精神的には誰よりも元気な母でいることができました。

そんな娘に母がしてあげられることが「朝晩一笑」。日常からネタ探し、何があっても朝晩一回は必ず笑うように努めました。いい日ばかりではなく、成績不振、部活低迷期、泣きたい時、気分がすぐれない時…山あり谷ありの毎日でしたが、娘はよく笑ってくれました。朝の笑顔に「よし!大丈夫。」晩の笑顔に「今日もありがとう。」

笑って過ごせた朝晩に、母を見守ってくれた娘に心からありがと。輝かしい未来に笑って進んでほしいと願っています。笑う門には福来たる。

(保護者M母)

頑張れ!三星健児

高校生活で一番親が悩んだのは?総体も終わり、皆受験モードになるが、本人は分かっているもなかなかシフトアップしない時。「夏休みを制する者は受験を制す。」という言葉もあるが、本人は体育祭の応援団員の道へ。今しかできない事。高校生活最後の青春。選んだ結果に親は後押しをするだけでした。しかし、体育祭で見せた黄組の団結ある優勝には、親も目一杯泣きました。部活も楽しい仲間仲間、クラスマッチもハッスル。充実した高校生活だったことでしょう。

さあ、次の舞台が君を待っています。道は無限にある。迷いながらも、オンリーロードに向かって頑張れ、三星健児。

鹿屋高校には7年間、3人の子どもたちがお世話になりました。子とともに親も鹿屋高校卒業です。三人三様の受験で、親の悩みも三様でしたが、先生方の熱きご指導に感謝しております。7年間本当にありがとございました。

(保護者N父)

「高校生活の3年間」

3年前、東日本大震災が発生して数日後に娘たちの高校合格発表がありました。震災後の復興の期間がそのまま娘の高校生活の成長の時間と重なります。

入学前は、「鹿屋高校って勉強が厳しくてあまり楽しくなさそう」って思っていたらしい娘。でもそれは大違いだったそうです。勉強はもちろん大変なのですがそれと同じくらい文化祭や体育祭などの学校行事への取り組み、充実感でとても楽しい日々だったようです。中学校から続けてきた吹奏楽部でも素敵な先輩、楽しい仲間、かわいい後輩たち、頼りになる顧問の先生に恵まれて3年連続コンクールで金賞をとることができました。

親にとってもこの3年間でPTA活動や部活動でたくさんの人たちと知り合い、いろんな体験をさせていただいた楽しい時間でした。

4月からは新生活のスタートです。成長した子どもたちは新天地でさらに成長していくことと思います。

(保護者K母)

Dear my daughter

Rよ、卒業おめでとう。やはり高校3年間はあっという間でしたね。中学校の時は、ソフトテニスで楽しませてもらい、高校では一転軽音、しかもビジュアル系のロック。50台半ば過ぎの私には、ちょっとという気もしましたが、案外といけて、シドのコンサートまで楽しませてもらい、何か新しい発見をした気分にもなりました。

一方、高校と言えば、受験勉強に徹して欲しかったのが最初からあまりとやかく言うのはと、控えめにしていたら、あっという間の3年で、うまく伝えられなかったような気がして、ちょっと反省しています。

しかし、あなたは、自分なりに、高校生活を楽しいものにしていきたいという目標があったのか、そこそこの成績も取り、充実した高校生活を送っていたのではないでしょう。

高校卒業後は、あなたはよいよ家を出て、一人で生活することになります。人は、社会の中では、一人では生きていけなく、他人と共同で生活していくことになります。そこには、責任が付きまとうことを常に念頭に置き、自分の思うように1回しかない人生を楽しんで欲しいです。

(保護者S父)

よく頑張りました

「鹿屋高校はついていくのが大変だから、他の学校に行きたい。」という親の意見に対し、「どうしても鹿屋高校に行きたい。」と言い受験。心配しながら合格発表を見に行ったのがつい先日の出来事のように思い出されます。そしてもうすぐ卒業。早いものです。自分で希望して入ったとは言え、小・中学校を少人数の中で過ごしてきたためか、最初は大人数に馴染めず、クラスに同じ中学校出身もおらず、なかなか友達もできずに落ち込み、約1カ月は心配もしました。しかし、1年生の宿泊学習以降友達も少しずつできて、部活動にも入ることができ、その後は時間に追われながらも今まで充実した日々を送っていたようです。そして今何より娘を自慢に思うことは、3年間病気をすることもなく無遅刻、無欠席で通えたことです。これから先、自分の中でちょっとした自信にも励みにもなると思います。鹿屋高校で過ごした3年間諸先生方やたくさんの方の友達、後輩に感謝する気持ちを忘れることなく前進して欲しいと思います。そして最後に一言。卒業おめでとう。3年間よく頑張りました。

(保護者N母)

伝えたい事

入学式の日、正門の桜が美しかったことを思い出します。貴方達にとって楽しくもあり、辛くもあった鹿屋高校での三年間の日々は、私達父母にとってもかけがえのない思い出です。

優勝した三年生の体育祭、先生方の名演技に驚き笑った文化祭、そして九十周年の記念講演会。中村文昭さんの話に真剣に耳を傾け素直に感じ、受けとめていた貴方達をとっても頼もしく思いました。

一緒にすごした十八年で、私は貴方に必要な事、大切な事を伝えられたのでしょうか。人生は思いがけない事が起こります。そんな時支えてくれた人々を思い出し、自分を大切にしてください。

誰かのために生きることの幸せを感じられる人生でありますように。

(保護者A母)

センター試験激励会

1月8日(水)校内でセンター試験に向けた激励会が開催され、全生徒が参加しました。
3年生の代表下大園光輝さんが決意表明し、2年生の福岡隆広さんが激励のあいさつ、最後に2年生応援団による応援エールが行われ、全員の合格を誓い合いました。



2年生は「3年生0学期」スタート

3年生を送り出す2年生にとって、激励会は、自身の「3年生0学期」がスタートする号砲でもあります。3年生の合格を祈りつつ、来年の受験に向けて、気持ちを新たにしています。

受験生としての自覚

この鹿屋高校に入学し、早二年が過ぎようとしています。私達は四月から三年生となり、同時に受験生としての自覚が要求されます。

福岡 隆広

一年生、二年生と高校生活を過ごす中で多くの受験生の先輩方の背中を見てきました。一、二年生と三年生とでは大きく勉強への姿勢が異なります。我々も三年生0学期として努力していかねければなりません。また、多くの部活動が三年の夏で終わります。個人個人が掲げる目標に向かってより一層気を引きしめて日々練習していこうと思います。

これまでの二年間で反省すべきところは反省し、良い形で三年生という大きな舞台に立てるようにしていかなければなりません。三星健児として文武両道頑張れるようにしたいと思います。

受験生になろう！



2学年主任
安永 隆

3年生の0学期を、自ら気持ちを保てることになり、当然ながら、身に付けることの出来る学力もより高いものになるのは当然である。より高い学力が身に付けば、進学先を選ぶことが出来る可能性が大きくなる。よって、全国の進学校の多くで、3年生の0学期という指導が行われている筈である。現在の2年生からは、新課程入試が始まる。例えば、文系でも理科を2科目受験しなければならぬ等、教科数も増え、学習すべき内容も増えてくる。つまり、例年以上に早いスタートが重要になるということである。

さてこの2ヶ月余りを受験生としてどのように過ごしたのだろうか？ 順調ならば大いに結構。自分は甘かったと反省し巻き返すなら、今がもっとも良い時である。先輩たちが卒業し、いよいよ自分の番である。と自覚しやすいし、昨年末に予定表もつけて紹介したように、高校入試に伴う自宅学習期間や春休みや4月末から5月上旬の連休などのために、学校が休みであることが多く、自分で学習するかどうかで学習時間に大きな差の付く、とても重要な期間が始まる時期であるからである。

さあ、受験生になろう。

PTA NEWS

PTA研修視察を終えて

白口 淳子

十一月二十八日に行われたPTA研修視察で、宮崎公立大学と宮崎大学を訪問しました。
宮崎公立大学では、鹿屋高校の卒業生が説明してくれました。少人数ゼミの教育で、就職指導も丁寧という印象を受けました。卒業生が、国際交流を深めるとともにボランティア等地域活動にも積極的に取り組む姿に感心させられました。
宮崎大学では、すべての学部、学科の映像によるくわしい説明がありました。就職率が高く、学生に対する支援も細やかなどと感じました。
車中では、牧之瀬先生が、学生として過ごした宮崎での体験談を話してくださり、より身近に大学のことを感じる事ができました。

家庭教育講演会で学んだこと

安部 真由子

「子供の生活とメディア」という演題での原陽一郎先生の講演は、思春期の子供を持つ親にとって身近な問題として考えさせられるものでした。

「メディア」の発展における問題は乳幼児期から始まっているとのこと。そこで、スマホやパソコンを子供のおもちゃとして与えるのではなく、保護者として監督責任を自覚し、それらを子供の自由にさせることのないようにするために子供と向き合い、親子でコミュニケーションを充分に取る事が大切なのだと思えました。

また、先生のお話から、SNSに関係した事件や事故、「メディア」による中毒、依存症などの健康被害は、他人事ではないと感じました。それは都会だからとか田舎だからとかいうことではなく、どこでもどの家庭でも起こり得る事だということ。他人の事も考えられる、他人を通して自分を考えたいというコミュニケーション能力は、メディアから得られるものではなく、親が子供と一緒に考え、伝えていかなければならないことだと思えました。

講演会後の分科会では、各高校からの研究発表が行われました。
PTAと全学年から取ったいじめや性問題などのアンケート結果をまとめたもの、生徒が家庭や地域と共にPTA活動を実施したその成果と課題などの報告がなされました。

それらの研究発表から、家庭と学校、地域の連携が豊かな人間性と生徒の健全育成の為に必要であり、だからこそPTAの果たすべき役割や活動が重要なのだと感じました。

「三星鹿屋」広報紙コンクール 最優秀賞 受賞



第5分科会 青少年の健全育成とPTA活動

去る2月4日(火)平成25年度鹿屋市P連広報紙コンクールの審査が行われ、高校の部で最優秀賞を受賞しました。今後も鹿屋高等学校広報部はいろいろな角度から取り組み、楽しんでいただける広報紙を目指します。

近所さん教えて!!

地域の方々からみた鹿屋高校生って？

☆交通マナーはいかがですか？

- ・まあまあですが、
 - ・スピードの出し過ぎ!!
 - ・横に並んで走っている!!
 - ・携帯に夢中で車が近づいているのに気づかず、ひやっとします
 - ・送迎の停車場所を考えてほしい
 - ・校門前に(下校時)たむろしている
- 交通マナーで気を付けてほしいこと**
- ・下校時、部活が終わり、家路を急ぐあまり、バイク・自転車のスピードが出てくるなあとと思われる生徒さんも見られます。
 - ・学校の前で商売をしています、敷地内を通り抜ける学生がいます。何回か注意していますが、事故があつてからでは遅いです。今一度注意してくださいがあればありがたいです。
 - ・鹿屋高校生とはいきれませんが、「だいわ」入口付近に自転車散らかしています。
- ☆あいさつはしていますか？**
- ・よくしています。運動部は特に良い
 - ・挨拶する人としていない人あり
 - ・野球部のあいさつは気持ちがいい!!
- ☆鹿屋高校生・保護者・職員に感じていること**
- ・生徒の皆様は、よくあいさつをしてくれれます。朝から気持ちの良いものです。職員の方も寒い日、暑い日、校門や横断歩道に立たれ、生徒とコミュニケーションをとられる姿はほほえましいものがあります。

ます。

- ・特に保護者に感じますが、甘やかし過ぎかと。例えば、送迎時(特に雨の日)学校の周りは大渋滞。自転車や歩きの学生も逆に危ない(しょうがないですが)職員・PTAなど交通整理が必要かも
- ・「だいわ」の入口でお迎えを待っている時は、椅子にかけられるなりされた方がいいのでは。

☆応援メッセージ

- ・自分の母校が取り上げられるのはうれしい事です。特にスポーツ!!自分が体育系クラブでしたので、新聞などで見たときには「がんばれ」と応援しています。文武両道は難しい事ですが、高校3年間、がんばってほしいと思います。がんばって下さい!!
 - ・三年生、もうすぐセンター試験頑張ってください。一・二年生も近い将来に向かって頑張ってください。
 - ・90周年を迎えられた大隅の雄と言われている伝統高校の鹿屋高校。近所に住み、毎日のチャイムの音で、日常にメリハリがあります。朝夕、生徒さん達の優しい姿(野良犬をあやしている姿など)テスト前、頑張つて本を読む姿など、見ている方も元気が出て参ります。どうぞ、この鹿屋高校の皆様には幸多かれと願っています。
- ご協力いただきました方々には心から感謝いたします。これを機に交通マナー等に気を付けましょう。

今の「旬」は何ですか？



一学年主任 賢吾 薬丸

食べものに、一番おいしく食べられる「旬」の時期があるように、人生においても、一生において、一番効率よく何かを実践できる「旬」

の時期があります。しかし、その「旬」を逃してしまうとその食べ物の本来のおいしさを味わうことができないように、人生においても、その実践の効果は薄れてしまいます。

これまでの自分を振り返ってみよう。「旬」を「先延ばし」にしてきた自分はいなかっただろうか。そのせいで結局嫌な思いをしたことはなかっただろうか。あのときやっていたら違った結果が変わっていたらどうと後悔したことはなかっただろうか。しかし、まだこれからもこんな思いを経験したいと思っている人は誰もいないはずだ。

鹿屋高校ではそれぞれの「旬」を見極め、そのときどきの「旬」を提供しています。時には自分の苦手なものが出てくることもあるかもしれませんが。しかし、その苦手なものも、以前経験した時に「旬」を逃していたため、本来のおいしさに気がつかなかっただけかもしれない。また、好き嫌いが多く栄養のバランスが不十分になるように、人生も豊かなものにはなりません。食べたいものはすぐに食べて、食べたくなければ食べないだけで「先延ばし」にするという、狭い視野での行動ではなく、「旬」を逃さず、広い視野で先を見通しながら行動することが大切です。

これまで述べてきたことは、鹿屋高校の中でしか通用しない話ではなく、卒業しても大切なことです。高校生活を充実させ進路実現をするための、そして卒業後の長い人生をより豊かなものにするための秘訣と言っても言い過ぎではないでしょう。あなたの今の「旬」は何ですか？

かのや食堂 おかみさんレシピ

おおすみ半島には美味しい食材がいっぱい。昔から伝わる郷土料理を作ってみませんか。

がね

【衣と合わせて揚げた形が「かに」に似ているところから、鹿児島弁の「がね」と呼ばれています。おやつにおつまみにいかが!!】

- 材料**
- 豆腐……1/2丁
 - 味噌……大さじ1
 - 砂糖……大さじ1
 - 小麦粉……100g
 - おろししょうが
 - 水……50cc
- (A)



- さつまいも……中1本
- 人参……1/2本
- (ごぼう・にらなど)
- 季節の野菜をプラスしてね)



- ①(A)豆腐をつぶしながら、よく混ぜ衣を作る。
- ②野菜を加えて混ぜ、カニのように形作りながら中温の油で揚げる。



☆R'sポイント

- ①の衣にサラダ油少々加えると、さっくり揚がります。

でんぷん汁

【甘藷でんぷんのだんご汁です。寒い季節には身も心も温まる1品!!】

- 材料**
- だし……4カップ
 - 薄口しょうゆ……大さじ1
 - 塩……小さじ1
 - (味付けは白だしでもOK)
- (A)



- 人参……1/2本
- 干しいたけ……4枚
- 白菜……2枚 深ネギ……1本
- 小松菜……2株
- (季節の野菜なんでもOK)
- からいもでんぷん……100g 熱湯



- ①鍋に(A)を入れ、小松菜以外の材料を煮えにくい、順に入れ、煮る。
- ②からいもでんぷんをボールに入れ、まとまるぐらいに熱湯を加え練り混ぜる。
- ③①のでんぷんを食べやすい大きさにスプーンでまとめながら入れて、煮る。
- ④でんぷんだんごが透き通ってきたら、小松菜を加え、できあがり。



☆R'sポイント

- ・でんぷんを豆腐を使って練ってもふんわり仕上がります。
- ・青のりの吸い物にでんぷんを入れて煮てもおいしいです。

祝 還暦

神田校長先生と下京教頭先生がそろって還暦を迎えられました。常日頃の並々ならぬご指導、ご厚情に心から感謝いたします。今後とも益々若返られ、ご活躍ください。心から祈念いたします。



部活青春だあー

部活青春の第3弾!!本校は28の部活と4同好会があり、仲間と身体・精神を鍛え、技を磨いています。日々の課題にも懸命に取り組む部活動生たち。今年度最終号はサッカー部の登場です。さあ、どんな青春を送っているのでしょうか。

1年生18人、2年生15人で日々トレーニングに励んでいます。今年のチームはさまざま武器を持つ選手が集まり、とてもチームワークがよいのが特徴です。数多くのトレーニングマッチや、遠征、合宿を通して着実に力をつけてきました。先日行われた選手権の大隅地区予選では、1位通過することができました。まだまだ課題があります。が、頑張っていきたいです。文武両道しながら、本気でサッカーに打ち込むことができるのは、高校が最後であり悔いのないように全力で駆け抜けたいと思います。



私たちはサッカー部は、Run Think Fightを合言葉に、

Run Think Fight
サッカー部

担当職員

- 1-7 船迫 児嶋・上床・黒原
- 2-4 新保

担当副会長

- 1-8 長谷
- 1-5 猪野
- 1-4 有馬
- 1-2 市来
- 2-8 鶴瀬
- 2-7 小濱
- 2-4 今釜
- 2-4 久保園
- 2-4 郷原
- 2-2 竹之下
- 2-1 田中
- 2-1 安部
- 3-1 河野
- 3-1 新原
- 3-1 西園

広報部員

編集後記

季節は巡り、また今年も桜の蕾が春を待ちわびています。今年度最終号となります。第66号をお届けします。一年間お付き合いいただきありがとうございました。P.T.A.広報誌「三星鹿屋」いかがでしたでしょうか。広報部員一同、多くの皆様のご理解・ご協力をいただき感謝いたします。